

遠野スタイルの「小さな拠点づくり」

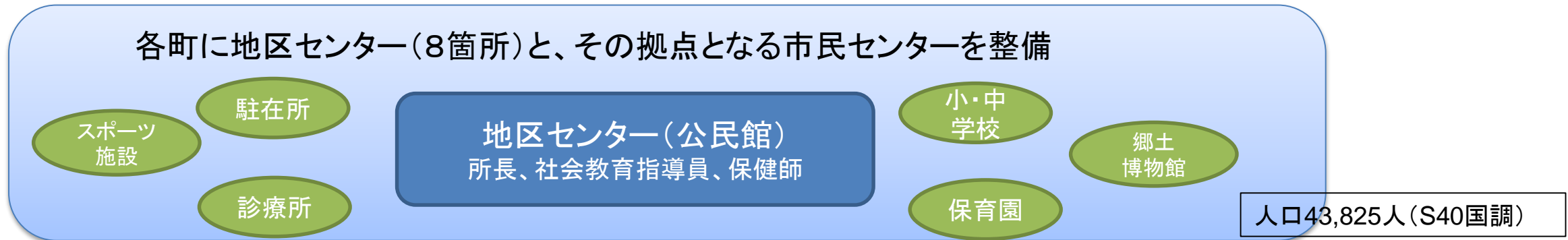
平成29年5月9日
第1回市総合計画審議会資料
市民センター

～新たな地域自治の仕組みづくり～



1 トオピアプラン(昭和43年)

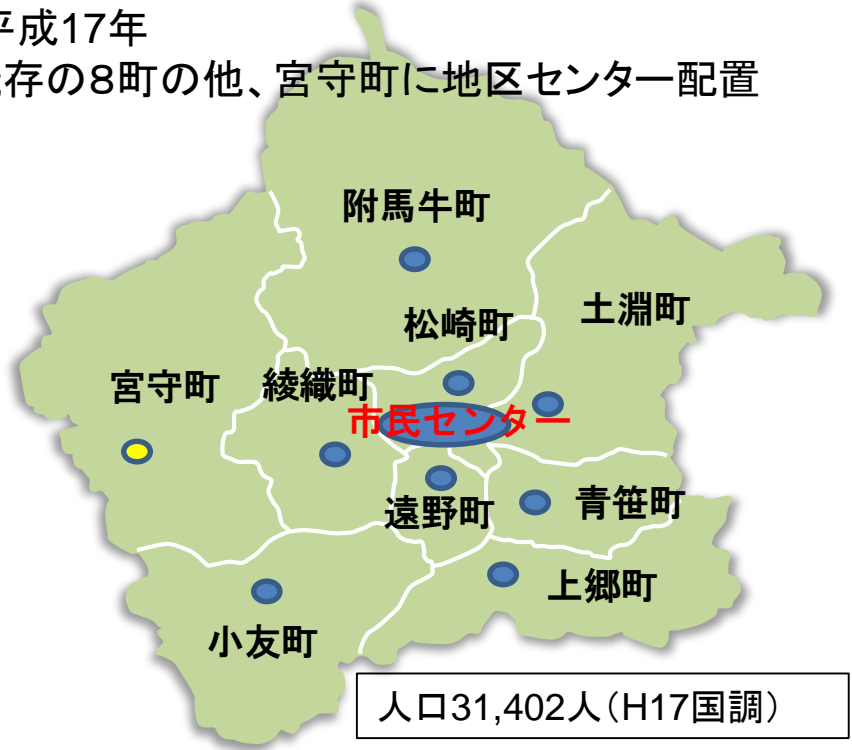
○遠野市総合計画「トオピアプラン」で「市民センター構想」「カントリーパーク(地区センター)構想」を打ち出す。
「市民生活行政・社会教育行政の一元化」「生活圏域における地域づくり、地域保健・医療、社会教育の一体的推進」



2 平成の大合併を経て新たな体制整備

人口減少、高齢社会、財政難 ⇒ 持続可能なコミュニティの育成

○平成17年
既存の8町その他、宮守町に地区センター配置



職員体制

- 職員 (2人→3人)
 - ▶所長(再任用・任期付職員)
 - ▶主任または主事(正職員)
 - ▶地域活動専門員(非常勤職員)

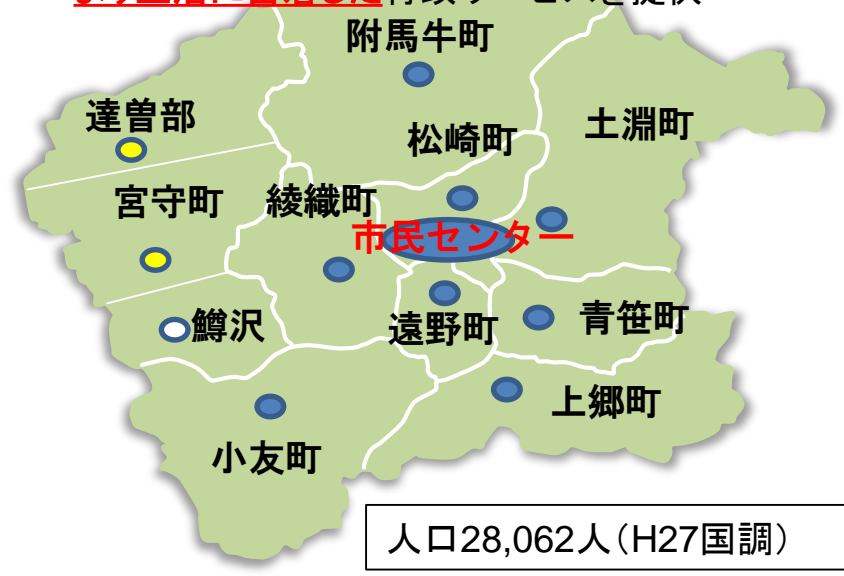
- 保健師
3中学校区単位で配置

地域づくり支援

- 各町で地区まちづくり計画策定
一括交付金での支援

○旧1町10カ村単位に地区センター体制整備

より住民に近い場所で、
より生活に密着した行政サービスを提供



遠野スタイルの「小さな拠点づくり」

～新たな地域自治の仕組みづくり～



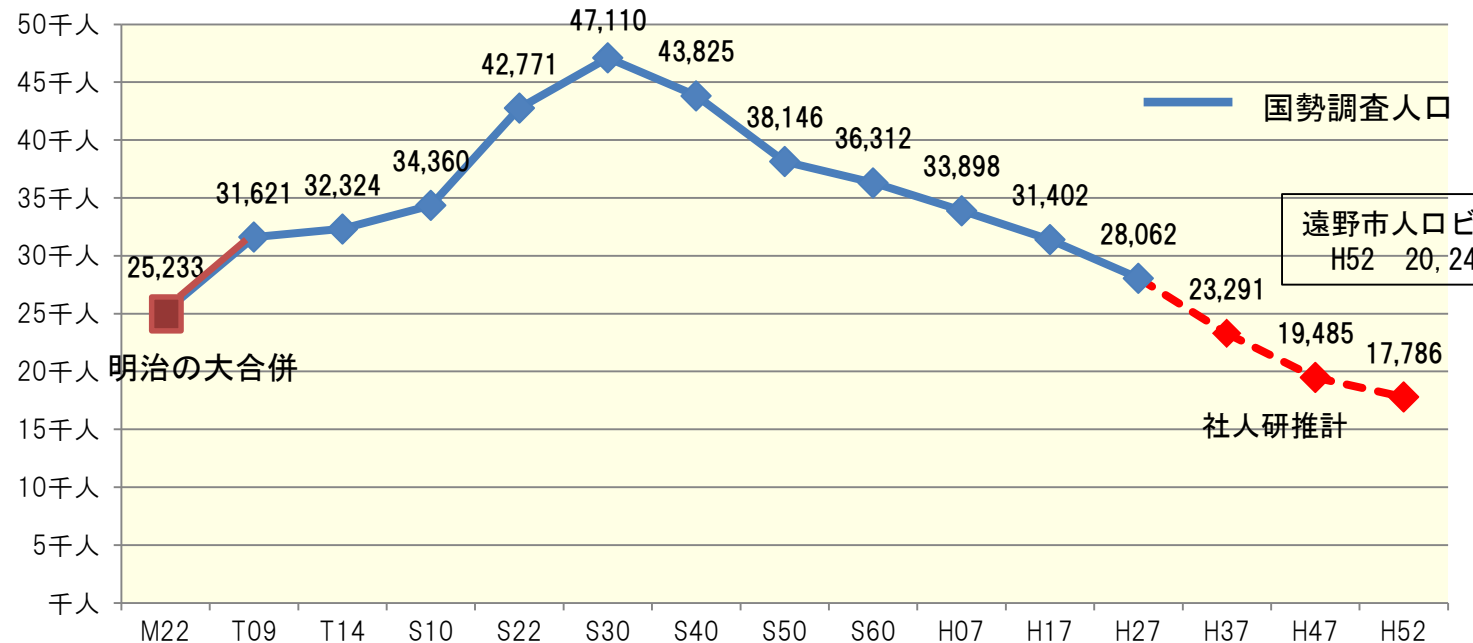
3 地域コミュニティ支援方針

- 従来の3本柱「**地域づくり**」「**ひとづくり**」「**健康づくり**」に加え、『**地域支え合い**』を推進する。
- 『**住民自治行政**』を推進するため、**地区まちづくり計画**を策定し、その計画に基づき住民自らが主体となった取組ができるよう、**一括交付金(1地区上限3,000千円)**等、財政支援の抜本的な見直しと**人的支援体制を強化**する。

4 遠野市の人口の推移(推計)

- 平成27年国勢調査 28,062人
H22年比較 $\Delta 1,269$ 人
H17年比較 $\Delta 3,340$ 人

* 国立社会保障・人口問題研究所の推計(27,519人)より+543人。



5 取組の経過等

- 平成25年度 第2次進化まちづくり検証委員会に諮問(H27.7月最終提言)
- 平成27年度 地域コミュニティ支援方針策定
- 平成28年度 11地区に地区センター配置、地区センター職員3人体制に移行
一括交付金制度による**地域づくりのモデル地区指定(上郷町)**
- 平成29年度 **モデル地区拡充(3地区:上郷町、小友町、松崎町)**、全地区で地区まちづくり計画策定・着手
- 平成30年度 新支援制度実施(住民自治実施への移行期間)
- ～ 個別事業補助から一括交付事業への全地区移行、地区まちづくり計画に基づく地域運営の実証実施
- 平成33年度 本格的な住民自治実施(地区センターの指定管理者制度導入等)

みんなで考え支えあうまちづくり

